

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成22年1月21日 (2010.1.21)

【公表番号】特表2005-501113(P2005-501113A)

【公表日】平成17年1月13日 (2005.1.13)

【年通号数】公開・登録公報2005-002

【出願番号】特願2003-523165(P2003-523165)

【国際特許分類】

A 6 1 K	33/00	(2006.01)
A 2 3 L	1/30	(2006.01)
A 6 1 K	8/19	(2006.01)
A 6 1 K	8/00	(2006.01)
A 6 1 Q	15/00	(2006.01)
A 6 1 Q	19/00	(2006.01)
A 6 1 Q	19/10	(2006.01)
A 6 1 K	33/08	(2006.01)
A 6 1 K	33/22	(2006.01)
A 6 1 K	33/30	(2006.01)
A 6 1 K	33/42	(2006.01)
A 6 1 P	17/02	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	31/10	(2006.01)
C 0 3 C	3/076	(2006.01)
C 0 3 C	3/078	(2006.01)
C 0 3 C	3/083	(2006.01)
C 0 3 C	3/085	(2006.01)
C 0 3 C	3/087	(2006.01)
C 0 3 C	3/089	(2006.01)
C 0 3 C	3/091	(2006.01)
C 0 3 C	3/093	(2006.01)
C 0 9 D	5/14	(2006.01)
C 0 9 D	7/12	(2006.01)
C 0 9 D	201/00	(2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K	33/00	
A 2 3 L	1/30	Z
A 6 1 K	7/00	B
A 6 1 K	7/32	
A 6 1 K	7/48	
A 6 1 K	7/50	
A 6 1 K	33/08	
A 6 1 K	33/22	
A 6 1 K	33/30	
A 6 1 K	33/42	
A 6 1 P	17/02	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	31/10	

C 0 3 C 3/076  
 C 0 3 C 3/078  
 C 0 3 C 3/083  
 C 0 3 C 3/085  
 C 0 3 C 3/087  
 C 0 3 C 3/089  
 C 0 3 C 3/091  
 C 0 3 C 3/093  
 C 0 9 D 5/14  
 C 0 9 D 7/12  
 C 0 9 D 201/00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成21年10月22日(2009.10.22)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

化粧品、デオドラント製品、医療製品若しくは薬品、プラスチック若しくはポリマー、衛生紙製品、食品、洗浄剤、発汗抑制製品、塗料及びラッカ、または、皮膚に対する刺激による反応、急性若しくは慢性の傷を処置するための製品に使用される、炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末であって、

該ガラス粉末のガラスが酸化物ベースの重量%で以下の成分：

20～80重量%  $\text{SiO}_2$   
 0～40重量%  $\text{Na}_2\text{O}$   
 0～40重量%  $\text{K}_2\text{O}$   
 0～40重量%  $\text{Li}_2\text{O}$   
 0～40重量%  $\text{CaO}$   
 0～40重量%  $\text{MgO}$   
 0～40重量%  $\text{Al}_2\text{O}_3$   
 0重量%  $\text{P}_2\text{O}_5$   
 0～40重量%  $\text{B}_2\text{O}_3$   
 0～10重量%  $\text{ZnO}$

を有し、このとき、 $\text{Na}_2\text{O} + \text{K}_2\text{O} + \text{Li}_2\text{O} + \text{CaO} + \text{MgO}$ の合計が15～80重量%の量とされ、該ガラス粉末のガラスに  $\text{Ag}$  が含まれておらず、該ガラス粉末のガラスの粒子の大きさが平均で  $50\text{ }\mu\text{m}$  未満とされている、ガラス粉末。

【請求項 2】

前記ガラス粉末のガラスの粒子の大きさが平均で  $20\text{ }\mu\text{m}$  未満である、請求項 1 に記載の炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末。

【請求項 3】

$\text{Na}_2\text{O} + \text{K}_2\text{O} + \text{Li}_2\text{O}$ の合計が5～50重量%の量とされていることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末。

【請求項 4】

$\text{CaO} + \text{MgO}$ の合計が5～50重量%の量とされていることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末。

【請求項 5】

化粧品、デオドラント製品、医療製品若しくは薬品、プラスチック若しくはポリマー、

衛生紙製品、食品、洗浄剤、発汗抑制製品、塗料及びラッカ、または、皮膚に対する刺激による反応、急性若しくは慢性の傷を処置するための製品に使用される、炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末であって、

該ガラス粉末のガラスが酸化物ベースの重量%で以下の成分：

68～75重量%  $\text{SiO}_2$

10～20重量%  $\text{Na}_2\text{O}$

5～15重量%  $\text{CaO}$

0～10重量%  $\text{MgO}$

0～3重量%  $\text{Al}_2\text{O}_3$

0重量%  $\text{P}_2\text{O}_5$

を有し、該ガラス粉末のガラスにAgが含まれておらず、該ガラス粉末のガラスの粒子の大きさが平均で50  $\mu\text{m}$ 未満とされている、ガラス粉末。

【請求項6】

前記ガラス粉末のガラスの粒子の大きさが平均で20  $\mu\text{m}$ 未満である、請求項5に記載の炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末。

【請求項7】

前記ガラス粉末のガラスは、XがLi, Na, K, Be, Mg, Caとなることができかつ $y = 1$ 又は $y = 2$ であるときに、0～30重量%の $\text{XF}_y$ をさらに有していることを特徴とする請求項1から請求項6のいずれか1項に記載の炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末。

【請求項8】

前記ガラス粉末のガラスは、XがLi, Na, K, Be, Mg, Caとなることができかつ $y = 1$ 又は $y = 2$ であるときに、0～10重量%の $\text{XI}_y$ をさらに有していることを特徴とする請求項1から請求項7のいずれか1項に記載の炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末。

【請求項9】

化粧品、デオドラント製品、医療製品若しくは薬品、プラスチック若しくはポリマー、衛生紙製品、食品、洗浄剤、発汗抑制製品、塗料及びラッカ、または、皮膚に対する刺激による反応、急性若しくは慢性の傷を処置するための製品に使用される、炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末であって、

該ガラス粉末のガラスが酸化物ベースの重量%で以下の成分：

20～80重量%  $\text{SiO}_2$

0～30重量%  $\text{Na}_2\text{O}$

0～30重量%  $\text{K}_2\text{O}$

0～30重量%  $\text{CaO}$

0～30重量%  $\text{MgO}$

0～30重量%  $\text{Al}_2\text{O}_3$

0重量%  $\text{P}_2\text{O}_5$

0～40重量%  $\text{B}_2\text{O}_3$

を有し、該ガラス粉末のガラスにAgが含まれておらず、該ガラス粉末のガラスの粒子の大きさが平均で50  $\mu\text{m}$ 未満とされている、炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末。

【請求項10】

前記ガラス粉末のガラスの粒子の大きさが平均で20  $\mu\text{m}$ 未満である、請求項9に記載の炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末。

【請求項11】

前記ガラス粉末のガラスは、次の元素：Cu, Zn、のグループから選択された重金属イオンをさらに有していることを特徴とする請求項1から請求項10のいずれか1項に記載の炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末。

【請求項12】

前記ガラス粉末のガラスは、重金属を含まないことを特徴とする請求項 1 から請求項 10 のいずれか 1 項に記載の炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末。

【請求項 13】

前記ガラス粉末のガラスは、Cu, Zn を含有していないことを特徴とする請求項 12 に記載の炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末。

【請求項 14】

平均した前記ガラス粒子の大きさは  $10\text{ }\mu\text{m}$  未満とされていることを特徴とする請求項 1 から請求項 13 のいずれか 1 項に記載の炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末。

【請求項 15】

平均した前記ガラス粒子の大きさは  $5\text{ }\mu\text{m}$  未満とされていることを特徴とする請求項 14 に記載の炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末。

【請求項 16】

平均した前記ガラス粒子の大きさは  $1\text{ }\mu\text{m}$  未満とされていることを特徴とする請求項 15 に記載の炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末。

【請求項 17】

原材料からガラスを溶融し、

溶融したガラスをリボンへと加工し、

前記リボンをガラス粉末に粉碎し、このとき、粒子の大きさを平均で  $50\text{ }\mu\text{m}$  未満とする工程を有する請求項 1 から請求項 16 のいずれか 1 項に記載の炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末を製造する方法。

【請求項 18】

前記リボンをガラス粉末に粉碎する工程は、粒子の大きさを平均で  $20\text{ }\mu\text{m}$  未満とする工程を有する請求項 17 に記載の炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末を製造する方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0012

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0012】

本発明により、上記課題は、請求項 1 又は請求項 5 又は請求項 9 に記載の炎症を抑えかつ傷を癒す作用を持つガラス粉末により解決される。上記ガラス粉末のガラスは、 $20\sim 80$  重量%の  $\text{SiO}_2$ 、 $0\sim 40$  重量%の  $\text{Na}_2\text{O}$ 、 $0\sim 40$  重量%の  $\text{K}_2\text{O}$ 、 $0\sim 40$  重量%の  $\text{Li}_2\text{O}$ 、 $0\sim 40$  重量%の  $\text{CaO}$ 、 $0\sim 40$  重量%の  $\text{MgO}$ 、 $0\sim 40$  重量%の  $\text{Al}_2\text{O}_3$ 、 $0\sim 1$  重量%の  $\text{P}_2\text{O}_5$ 、 $0\sim 40$  重量%の  $\text{B}_2\text{O}_3$  を含有できることが好ましい。上記ガラスは、 $0\sim 30$  重量%の  $\text{XFy}$ 、(ここで、XはLi, Na, K, Be, Mg, Caとすることができ、 $y=1$  又は  $y=2$  である)、および/または、 $0\sim 10$  重量%の  $\text{XIy}$  (ここで、XはLi, Na, K, Be, Mg, Caとすることができ、 $y=1$  又は  $y=2$  である)も含有することができることが好ましい。 $\text{Na}_2\text{O} + \text{K}_2\text{O} + \text{Li}_2\text{O} + \text{CaO} + \text{MgO}$  の合計が  $15\sim 80$  重量%となることが好ましい。とりわけ  $\text{Na}_2\text{O} + \text{K}_2\text{O} + \text{Li}_2\text{O}$  の合計が  $5\sim 50$  重量%となることが好ましい。これとは異なり、 $\text{CaO} + \text{MgO}$  の合計が  $5\sim 50$  重量%となるものでもよい。